



2036年ビジョン
“はたらく”に
喜びを

“はたらく”は、時にストレスを生む。
だけど、それを乗り越える人に、かけがえのない喜びを与えてくれる。

“はたらく”に喜びを。その原点は、1936年の創業からリコーが受け継いできた三愛精神。
1977年に私たちが提唱したオフィスオートメーションにも通じる想い。
はたらく人を単純作業から解放し、充足感、達成感、自己実現につながる、
“はたらく”の変革をお届けしたい。

その願いは2017年、リコーグループの提供価値へ発展しました。
はたらく人の創造力を支え、ワークプレイスを変える。
“EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES”

私たちのサービスが実現するのは、好きな時に、好きな場所で、自由にはたらせる世界。
はたらく人、場所、ワークフローが自在につながり、人間らしい創造力が発揮される未来。
そして、“はたらく”の変革の先に実現する、持続可能な社会。
リコーは、あるべき未来を想い描き、今を変えていきます。

はたらく喜びを、生きる喜びへ、つないでいくために。

リコーがOAを提唱した際、そこには「機械にできることは機械に任せ、人はより創造的な仕事をするべきだ」という想いが込められていました。人間にしかできない創造的な仕事を通して、生み出される付加価値を増幅することに、はたらく喜びがあるのだという考え方です。
業務の効率や生産性向上を超え、はたらく人の充足感や達成感、自己実現に目を向ける。はたらくことから喜びを感じる、そのお手伝いをすることが、これまでお客様の“はたらく”に寄り添ってきたリコーの使命であると考えています。そのような想いを、2036年ビジョン「はたらくに喜びを」という言葉に込めました。